

新宮山彦ぐるーぷ第2051回

深仙宿避難小屋の外壁トタンに錆止め塗装

◇実施日；2019年11月6日(水) 晴

◇参加者；志岐敬、梶野照雄

(2名)

8月に西側、10月に北側のトタンを塗装したが、日照時間が短くなってきて、2時間を超える作業が難しくなった。正面と西側はきれいになったが、奥駆道に面した東側のサビが目立つようになった。秋の晴天が続いているうちに何とか塗装を、と思い、志岐さんに同行をお願いして実行した。



太尾登山口(今年14回目) 千丈平

深仙宿に到着

今回は、ペイントローラーと刷毛を持って行くだけなのでザックは極端に軽い。10時前に登山口をスタート、不動木屋分岐、古田の

森、千丈平で小休止して12時20分に深仙宿に着いた。お堂から塗料やシンナーを出して、先に昼食を済ませる。



西側の状態



塗料を準備する



離れて塗装

食後、志岐さんがローラーを担当、梶野は刷毛で上部の隅を塗り始めた。北側の塗装で、見上げる形で刷毛を使って腕やズボンに塗料が付いたので、ローラーの柄の先に刷毛を取り付けて、離れた場所から塗れるように工夫した。



上部は囲いがある



志岐さんはローラーで



ローラーの代わりに刷毛を

結果は上々で、腕もズボンも殆ど汚れなかった。刷毛は使い捨てのつもりで安物を使ったが、毛の量が少ないので何度も塗料を付ける必要があった。次回はもう少し毛量の多いものを準備しようと思う。50分ほどで塗装は完了、後片付けをしていると南下してきた縦走者（女性）が現れた。今日は弥山から深仙宿で泊るといふ。片付けながら、しばらく話をして、午後2時過ぎに深仙宿を後にした。千丈平へ登る途中で、降りてきた男性とすれ違う。軽装備だったので前鬼へ降りるのかもしれない。

行動タイム

登山口 09:56 → 11:06 古田の森 → 11:45 千丈平 → 12:20 深仙宿
14:15 → 14:56 千丈平 15:31 古田の森 → 16:40 登山口



塗装完了

大日岳と深仙宿

登山口の紅葉

帰り道の古田の森付近からの深仙宿は、西日が当たって小屋西壁の青色がはっきりと判った。

今年の10月はいつもの年より気温が高かった。その為か紅葉は遅れ気味で、1500mの尾根はすでに落葉していたが1300mの登山口付近がちょうどピーク。奥吉野発電所までの「もみじ街道」は緑のままだった。

（記：梶野）